

ヤクゾール液 10%

外用殺菌消毒剤
日本薬局方



ヤクゾール液 10%

ベンザルコニウム塩化物液
10w/v%

- (4) 繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は本剤の成分であるベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下とならないように注意すること。
- (5) 皮膚消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。
- (6) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーター等への使用は避けることが望ましい。

【薬効薬理】

本品はグラム陽性、陰性菌のみならず、芽胞のない細菌やカビ類といった真菌類に対しても殺菌作用を有する。しかし、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】

注意 (1) 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するためにベンザルコニウム塩化物0.1%溶液に0.5~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

(2) 皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので使用しないこと。

【包装】

500mL容器(角型減容)、500mL容器(蛇腹減容)、18Lポリ容器外箱(コック付)



ベンザルコニウム塩化物液
(10w/v%)

ヤクゾール液 10%

Yakuzol Solution 10%

500mL

日本標準品分類番号
872616
承認番号 21700AMX00056000
薬価収載 2005年9月
販売開始 1978年10月
再評価結果 1982年8月

【貯法】
気密容器

使用期限(上段)、
製造番号(下段)は
容器底部に記載

月	日	開 封
月	日	期 限

販売元

** 日医工株式会社
富山市総曲輪1丁目6番21
製造販売元

ヤクハン製薬株式会社

北海道北広島市北の里27番地

** 2015年5月改訂(第6版)
* 2008年4月改訂

【組成・性状】

本品はベンザルコニウム塩化物(C₂₂H₄₀ClN)として9.3~10.7w/v%を含む。無色~淡黄色澄明の液で、特異なにおいがある。振ると強く泡立つ。

【効能・効果】【用法・用量】

手指・皮膚の消毒	通常石けんで十分に洗浄し、水で石けん分を十分に洗い落した後、ベンザルコニウム塩化物0.05~0.1%溶液(本品の100~200倍希釈)に浸して洗い、滅菌ガーゼあるいは布片で拭拭する。術前の手洗いの場合には5~10分間ブラッシングする。
手術部位(手術野)の皮膚の消毒	手術前局所皮膚面をベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本品の100倍希釈)で約5分間洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.2%溶液(本品の50倍希釈)を塗布する。
手術部位(手術野)の粘膜の消毒 皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01~0.025%溶液(本品の400~1000倍希釈)を用いる。
感染皮膚面の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01%溶液(本品の1000倍希釈)を用いる。
医療機器の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本品の100倍希釈)に10分間浸漬するか、または密閉に消毒する際は、器具を予め2%炭酸ナトリウム水溶液で洗い、その後ベンザルコニウム塩化物0.1%溶液(本品の100倍希釈)中で15分間煮沸する。
手術室・病室・家具・器具・物品などの消毒	ベンザルコニウム塩化物0.05~0.2%溶液(本品の50~200倍希釈)を布片で塗布・拭拭するか、または噴霧する。
腔洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02~0.05%溶液(本品の200~500倍希釈)を用いる。
結膜囊の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01~0.05%溶液(本品の200~1000倍希釈)を用いる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意*

- (1) 本剤は濃度に注意して使用すること。*
- (2) 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- (3) 原液又は濃厚液が眼に入らないよう注意すること。入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (4) 深い創傷又は眼に使用する場合は希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

過敏症^注 発疹、そう痒感等(頻度不明)

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤で消毒したカテーターで採取した尿はスルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。

4. 適用上の注意

- (1) 投与経路
1) 経口投与しないこと。
- 2) 洗腸には使用しないこと。*

(2) 使用時

- 1) 濃厚液の使用により、皮膚・粘膜の刺激症状があらわれることがあるので注意すること。
- 2) 粘膜、創傷面又は炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと。[全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある。]
- 3) 密封包装、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

5. その他の注意

- (1) 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落してから使用すること。
- (2) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、石けん分を洗い落してから使用すること。
- (3) 希釈液として塩類含量の多い水又は硬水を用いる場合には、通常用いる濃度の1.5~2倍の溶液として使用すること。



キャップ: PP
蓋: PE
ラベル: PE

ラベルと容器は同じ材質ですが、
分別は各自自治体が定める方法に
従ってください。

313165D ㊿